

令和 2 年度 第 1 回浦臼町総合教育会議会議録

招 集 期 日	令和 2 年 5 月 21 日	場 所	農村センター 第三研修室
開 閉 の 時 間	午後 4 時 36 分 開会 ・ 午後 6 時 00 分 閉会		
委 員 状 況 出 席 状 況	出席委員	平松職務代理者、島委員、大石委員、美濃委員	
	欠席委員		
町 長 の 出 席 状 況	川畑町長		
教 育 長 の 出 席 状 況	河本教育長		
職 員 の 出 席 状 況	石原副町長、上嶋事務局長、畑山社会教育係長、同係加藤、吉村学務係長、同係五十嵐		
上嶋事務局長	<p>ただいまより、令和 2 年度第 1 回浦臼町総合教育会議を開催いたします。開催にあたりまして、川畑町長よりご挨拶をお願いいたします。</p>		
川畑町長	<p>皆様、お疲れ様です。私、4 月の浦臼町長選挙におきまして、無投票により新しい町長に就任致しました。前職の副町長の立場では、この会議に参加しておりましたが、町長として気持ちを新たにいたしまして、皆さまのご支援、ご協力をいただきながら、この会議をもり立てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>ネットの情報によりますと、今日は北海道で新たな新型コロナウイルス感染者が 5 人発生しました。そのうち 1 人が空知管内の方で、町村名は公表されておりましたが、なかなか収束しない状況が続いております。その中で、石狩管内以外では、一部自粛解除の動きがあり、浦臼町も小中学校が再開し、分散登校を増やしながらの再開がすすんでおります。</p> <p>いずれにしても、完全収束を迎えない限り、子ども達の学習・学力に不安が残る状況にありますので、一刻も早い自粛の解除を願うところです。</p> <p>また、臨時休校により学習に遅れが出ていないか、子ども達の学力は結果が出ないとわからないところもありますので、この状況を見守りまして、解除になった時の学力の取り戻しについても、皆様のご意見も承りながら、この会議をすすめていきたいと思っております。</p> <p>そして、今は新型コロナウイルスのことがあり、他の話が進まないのですが、子ども達を取り巻く環境はなかなか厳しい状況にあるのは変わっておりません。格差の問題、いじめ、不登校いずれも今は大きな問題になっていませんが、今後も問題として再読する考えでおりますので、こちらも皆様のご意見も承りたいと思っております。よろしくお願い致します。</p> <p>以上をもちまして挨拶と致します。</p>		
上嶋事務局長	<p>続きまして、河本教育長より挨拶をお願い致します。</p>		
河本教育長	<p>皆様、お疲れ様です。今年度、2 ヶ月が経過しようとしています。学校におきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度 2 月 27 日から春休みの前日までの臨時休業がありました。</p>		

4月6日には新学期が始まりましたが、国の緊急事態宣言をうけまして、4月20日から5月6日までの臨時休業、さらに現在、分散登校は行っておりますが、5月末日まで分散登校が延長予定となっております。

社会教育についても、各種事業の中止、施設利用の休止、それから本年度は子ども広場の試行的な取り組み、入学前の新一年生の受入れを感染予防対策を講じながら、学校の臨時休業に対応した、広場の開設を行っている最中です。

町長にはALTの通年配置、長期による教職員の加配など、ご理解と財政措置を講じていただき、また教職員の働き方改革のため、当初予算における校務支援システム及びタイムカード導入の予算措置をいただき、お礼を申し上げます。

本日の議題につきましては、「浦臼町の教育について」となっております。新町長と教育委員会とで意見交換をさせていただき、相互理解を図りながら教育行政をすすめてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

上嶋事務局長

以後の議事、進行につきましては、町長にお願いいたします。

川畑町長

それでは本日のレジュメにそって進めていきたいと思っております。

4.の議事(1)「浦臼町の教育について」という事で、お手元の資料をご覧くださいと思います。資料の中に事業がいくつかのっております。8年間、斉藤町長のもとで副町長として努めさせていただき、子育て支援、学校教育には積極的に予算付けをしていただいたと考えております。特に子どもの教育に関しては、予算をつけていこうと基本的な考えですすめてきたところでありました。

今回、町長に就任しましても引き続き、基本的な考えは、子育て支援を継続していく考えでありますし、当然ながら、上乗せする形で新たな取り組みもしていきたいと考えております。

さて、継続事業の学校教育に関わるものとして、高等学校の通学等助成金として、原則上限1万円助成に取り組んでまいりました。今後も継続していく考えです。

2. 学校給食費助成金については、途中から取り組みをさせてもらいました。全体事業費500万円で、保護者の方からも大変好評いただいていると聞いております。これにつきましても今後も継続していく予定です。

3. 比較的新しい事業の各種検定料助成についてですが、予算はすべての子どもが受験された時を想定して、事業費を計上しております。ですが、なかなか受験率が3割、10数%と伸びていない状況になっております。こちらは、強制的という訳にはいきませんので、本人や保護者の方のご意向を受けての取り組みとなります。100%は難しいかもしれませんが、様子をみまして、続けていく方向です。

4. 地域おこし協力隊事業のジョナサン・ジェンキンスさんのことです。浦臼町在住も長く、大変子ども達にも親しまれている方です。地域おこし協力隊の身分でのALTは、今年度末をもちまして、最後となります。今後とも引き続き、浦臼町で活躍して欲しいと、本人には伝えていますが、母国のことやどのような人生設計をもたれているかは、確認がとれていない段階です。町の姿勢としては、継続して勤めていただきたいとお願いしており、結果は改めまして報告させていただきます。

川畑町長

5. 町費単独加配職員の配置についてですが、例年は通年1人を配置していたところですが、今年度につきましては1.5人の配置で少し増えました。この加配については、子ども達の学習環境や成績にかなりの影響を与えると聞いております。内部での話は、今後もさらに増員も含めての検討事項としていきたいと思っております。

ここまでは、学校教育についての話でした。すべて継続事業ということで、当面はこのまま継続していきたいと思っております。学校教育についての質問や日頃の思うことなどお話しいただきたいです。

平松職務代理者

地域おこし協力隊事業の件と加配の教職員の件です。現段階で望む最高の指針を示していただき、嬉しく思います。また単独加配の教職員についてはさらに増員も含めて重ねてよろしく願いいたします。

川畑町長

後ほど出てきますが、子ども達の学力を上げていくために、上砂川町は塾に取り組んでいます。加配と塾と両方すべて取り組むのが望ましいのですが、予算のこともありますので、見極めていきたいと考えています。この件は改めて、ご相談させていただく機会があればと思います。

平松職務代理者

子ども達の教育に重点をおいていただき、ありがとうございます。よろしく願い致します。

川畑町長

それでは次にすすみます。社会教育に関わるもののひとつ、開拓の碑及び史跡標柱助成金についてです。平成25年に、現晩生内の岩村改良区ができたときに岩村さんの関係で一件、助成したことがあります。ここしばらくはありませんが、継続していく予定です。

次は新規事業、学校教育に関するGIGAスクール構想についてです。文部科学省が提案しています、本来2023年までに各学校配置の予定でしたが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、前倒しになりすべて本年度に予算付けされました。

浦臼町では元々早期に環境整備に着手しようと補正予算を組み、令和3年までに情報機器の環境整備、1人1台のタブレット等端末の配置、Wi-Fiルーター設置等、完了する予定でした。状況がかわりまして、今年度中、早期に機器は入ると思います。

そして、この事業は先生方との連携やスキルアップも図りながらとなりますので、こちらにも重点をおきまして、実際に先生方が使用した上で協議しながら、体制を整えていく考えです。年内の導入を考え、100%の形でスタートは難しいかもしれませんが、順次先生方に繋いでいただいて、どなたでもできるようになるか、いまの私ではわかりませんが、成果が出るように取り組んでいきたいと思っております。

この端末は、Wi-Fi環境があるかどうかで家庭に差が出てきますので、ただいま、アンケートを実施している所です。当然、経済的な問題、またはインターネットに関心がない場合もあります。Wi-Fi環境がないと情報を受けられない、例えばSDカードを持ち出し学習することは可能でしょうが、タブレット端末を整備することは、インターネットで繋がるのが前提になります。

そこで、3点目、Wi-Fiルーターと関連機器整備事業、440万円計上しております。Wi-Fi環境のない家庭において、ここで対象となるのは、要保護、準用保護、低所得者に対する整備です。

子ども達の学習に差が出てはいけませんので、どう進めていくかを検討課題となっています。補助対象となる分にはこちらに提示させていただきました。

川畑町長

次、社会教育事業のB&G海洋センター施設の整備事業についてです。以前から話が出ておりましたが、前回の改修から時間が経過いたしまして、あちこち老朽化が進んでいるのが、現状です。そこで、B&G財団の補助金を活用しながら、プール等の改修をおこなってきたところですが、B&G財団の補助金は、上限があります。今まで、使用した補助金は除かれて残りの1,860万円を今年度補助申請し、決定通知書をいただいております。

全体事業費といたしましては4,158万円になりますが、うち1,860万円につきましては、財団からの補助をいただき、実施する内容となっています。

ここまでは、社会教育事業と新規事業の説明でしたが、質問等ございませんか。

大石委員	<p>新規事業のことで伺います。大変ありがたい事業だと思います。Wi-Fiルーターの環境整備の問題が主になると考えます。実際家庭にあるもので使用できるとすれば、それでよいのか、内容によっては一律にするとすると、事業費も増していくのではないのでしょうか。但し、環境整備しないことには、せっかくの一律の事業なので、子ども達が平等に学習を受けられなかったりしてはいけないと思います。</p>
川畑町長	<p>そうですね。子ども達の事業は多々行っておりますが、絶対数が少ないという浦臼の特徴があり、町に住んでいる子どもは全員同じ事業、同じ補助になるといえます。例えば、人口の多い札幌市に同じルーターを配れるのは、あり得ないと思います。極端な例ですが、滝川市でも1千人、2千人に同じルーターを全戸に配れないと思いますので、浦臼だからこそ可能な事業といえます。</p> <p>どこで線を引くのか、アンケートの結果がわかれば、実態が見えてくるのではないのでしょうか。ネット環境に自分でお金を払う人もいれば、環境がないから町から借りて使える、もしかしたら、その点で不公平感が出てくるのかもしれない。</p> <p>町のお金を節約したいというレベルの話ではなく、可能な限り、効率良く、合理的にすすめていくことが大事だと思います。まだ、結論は出ておりません。</p>
大石委員	<p>なかなか、線引きが難しそうですね。</p>
川畑町長	<p>浦臼町市街地で光回線の方は定額制ですので、子ども達が繋いでも金額は増えません。ですので、平等ではないという意識をどのくらいもたれるのか、わからないところではあります。この件は宿題となりそうです。</p>
平松職務代理者	<p>そもそもの通信の手段、資料の新規事業の学務教育に係るものの中で、LANの配線許可になっていますが、光回線は全町にということですか。</p>
川畑町長	<p>資料のネットワーク環境整備のことは、学校内ということになります。</p>
平松職務代理者	<p>そもそも、光回線を小学校に設置することが前提となるのお考えでしょうか。ネットの環境は、できることなら整備していくことがよいのかなと思います。</p>
川畑町長	<p>考えておりません。</p>
平松職務代理者	<p>聞いたお話ですが、光回線にする場合、数が揃わないとできないと数年前に聞いております。</p>
川畑町長	<p>そうですね。一定の需要がないとNTTは進出してこないときいています。</p>
平松職務代理者	<p>仮に、子ども達が今回、情報環境整備を行い光回線を使うことにより、教育の面だけではなく、高齢者などの町民にとってもネットを便利に使おうという気持ちになるのではないのでしょうか。外出しなくても、ネットで物が注文できるようになればとても良いことになると思います。</p>
川畑町長	<p>光回線の環境が欲しいという声は、特に若い年の方からいただいております。どうしても相当な経費が掛かると補助金が今の段階ではなくなっています。</p> <p>例えば、他のプランで、光回線を鶴沼や晩生内の市街地まで引いてもらい、そこから、電波で飛ばすということも考えられるかもしれません。合理的に経費を抑えられる方式を業者から提案されており、また、実験的に本町の総務課企画統計係でも検討したことがあります。</p> <p>農業従事者の若い方にルーターを貸し出し、使用した感想を聞いたことはあります。水道事業と同じく、人口が希薄な環境の中に光回線をすべて整備するとなると、どうしても経費はかなり割高になるというのが現状です。</p> <p>それ以上のメリットを町として満たすかどうかの問題になると思います。</p>

平松職務代理者	<p>コロナの影響で在宅勤務が増え、推進されています。職場や会社という建物を持たず働くというスタイルがこれから増えていくことが考えられますので、これから田舎に住みながら働くことが出来るとなると、できることなら、ネット環境整備は進めていく方がよいのかと思います。</p>
川畑町長	<p>いまは、光回線がスピードが速いということになります。実際わからないこともありますが、今後、5Gがごく一般化してきましたら、データ容量を何ギガで切るというものではないと聞いていますので、膨大な量のデータには無制限の契約方法が常識的になると思います。</p> <p>いまは、光回線を優先させていきますが、これから5Gが都市部から整備されていくと思います。ですが、浦臼町のような田舎にいつ来るのかが分からない現状です。仮に町がなんらかの経費を投じれば、例えば、キャリアのNTTやauが動いて整備してもらえるものなのか検討にも入れず、なんともわかりません。</p> <p>そして、有線と無線の入れ替わりのタイミングが近々来るのかどうか、そういう気がしないではないです。</p>
平松職務代理者	<p>5Gのこともありますね。</p>
川畑町長	<p>5Gになれば、光より速いのかもかもしれませんね。いずれにしましても、これからのネット環境の変化が先々まで見えていませんので、今は大きな予算付けは厳しいと思います。これからも様々な選択肢の中で検討をしていきたいと思います。</p> <p>それでは、最後の資料●のその他検討事業等です。</p> <p>(1)学校事務補助員の配置です。事務補助ということで、学業等に直接関わらないのですが、事務的な手作業をする方の配置が求められています。管内の他町村はほぼ全部にそういう方がいるということを知っています。ぜひ、検討をして欲しいという話が来ております。</p> <p>(2)農村センター施設整備ということで、通常管理分の屋根防水、外壁塗装、内部改修、備品整備等を今年度あるいは、次年度に向けて再度検討していきます。</p> <p>次の機能向上としては、エレベーターの設置がみどり学園を中心に希望が上がってきております。みなさん、ご覧になったことがあると思いますが、階段の脇に昇降機座って上下できるものが付いていますが、ほぼ利用がないです。危ないとか危険なのですか。</p>
上嶋事務局長	<p>昇降機が遅いということだと思います。以前、エントランスあたり、階段の中ほどで止まっていたことがあります。おそらく諦めて、歩いたのだと思います。</p>
川畑町長	<p>みどり学園の皆さんはまだまだ元気なのですが、足腰も弱っていますので、階段がなにより大変だと、伺っております。また、それだけで十分なのかと聞かれるとどうなのかということもあります。</p> <p>ここの施設は防災の避難所に指定されていることもありますし、かなり面積的に大きい施設です。大きな災害がおきたときには、こちらの避難所を活用することは、この時代ですので、十分考えられることでもあります。そのようなことから、防災避難所となったときの、2階へのアクセスの改善を含めて、エレベーターを設置してはどうかとの考え方もあります。</p>

川畑町長	<p>これにつきましては、例えばみどり学園の行事や総会、クラブ活動等を別の施設で代替え出来ないか、エレベーターを設置しない場合の代替案を私どもと教委で協議している経過はありますが、役場や活性化センターを利用することができないわけではないです。</p> <p>ですが、こちらの施設ができたのが後なのか、昭和50何年ですか、みどり学園もほぼこちらの施設を使っています。別の施設を使用する案と農村センターを増築し、1階部分を利用する案が出てはいるんですが、いずれにしても、増築になると費用がかかりますので、エレベーターより費用が高くなってしまいます。</p> <p>正式に見積もりを取っているわけではありませんが、2千万円近い金額となり、経費と使い勝手、それから防災上の改善も含めて検討していくところです。</p> <p>これにつきましては、みなさんのご意見を伺いたいのですが。</p>
島委員	<p>みどり学園の方が最初に不便があるという話はもちろんですが、防災上で何かあったときのための事と両方の面を考えると、（何かわからない？）と思うのですが、いろいろ問題はあると思いますが、ぜひ検討していただきたいです。</p>
川畑町長	<p>みなさん80歳代が多いということですが、本当に元気な方が来ていただいています。階段があるから行かないということもあるかもしれません。</p>
美濃委員	<p>エレベーターの設置を考えたとき、そもそも、お年寄りの方が免許を返納して車もなく、農村センターに来ること自体が厳しいと耳にすることがあります。エレベーターよりも町や国道を運行しているバスを利用して、アクセスしやすいところ、例えば駅周辺の開発もすすんでいくと思いますので、総合的な事を考えてお年寄りが自分の力で町に出て楽しんで、またお家に帰れるような事ができるようになればと思います。一意見ですが、総合的な面で考えると見えてくるところもあるのではないのでしょうか。</p>
川畑町長	<p>はい、札沼線の代替えバスは月形町との協働運行になっておりまして、月形町では一部温泉に寄ってからのルートと聞いております。浦臼町でもいろいろ行いだしたら、切りがなくなるのではないかと思いますので、（かばと一号）のルートの追加変更は難しいと思います。</p>
河本教育長	<p>乗り合いタクシーの連絡施設に農村センターは入っております。乗り合いタクシーに登録していただければ、1日何便かはありますので、農村センターまでは来ていただけたと思います。</p>
美濃委員	<p>なるほど、そちらを利用できそうですね。</p>
川畑町長	<p>そうですね。乗り合いタクシーもありますが、わかっていただいているのか、私では、（乗り合いタクシーを）使って来られている方がいるかわかりませんが、局長わかりますか。乗り合いタクシーでみどり学園に来られている方です。</p>
上嶋事務局長	<p>みどり学園については、ジャンボタクシーを借り上げて、3便出ております。一回ごと満杯にして、3回繰り返しています。帰りにタイムラグはあります。</p>
河本教育長	<p>月に一度の合同学習会はそのような形です。</p>
美濃委員	<p>カラオケなど、クラブ活動はどうですか。</p>
川畑町長	<p>例会になれば、それなりに人数も集まりますので、混み合うかなと思いますが、クラブ活動はどうですか。</p>
上嶋事務局長	<p>タクシーを利用して来る方が数名います。全員ではありません。</p>

川畑町長	<p>公共交通については、本当にいろいろな意見があります。町内や町外においての意見、例えば砂川の方に行ける何かをとという声をいろいろな方からいただいております。本当にすべてを対応するとすると、切りがなくなるので、この話はどこに線引きするかになると思います。足がない、交通手段がないという話としてよく聞いておきます。それらを含めて、ここではない場所になると思いますが、検討していきます。</p> <p>それでは次の(3)公設塾の開設についてです。先ほど話しも出ていましたが、何が子ども達の学習によいのか、他町村の事業も参考にしながら、検討させていただきたいと思います。ただ、聞く話では、勉強に意欲のある子どもは塾に来るけれど、意欲のない子は来ない、結局二極化してしまうというのは、どこに聞いてもある問題といえますか、実態として聞こえる話です。</p> <p>どうですか、みなさん。塾に対してご意見ありませんか。</p>
平松職務代理者	<p>公設塾があるに越したしたことはないと思います。インターネットで塾の授業もうけられますが、それが合っている子と、実際に教室に先生がいて、教えてくれるのがとてもいいという子と、人それぞれで違いますが、塾があるに越したことはないです。</p> <p>ですが、それよりも基本の学校の部分の加配の人員、事務補助員、それから、インターネットのタブレットでどこまでできるのか。いまはもう少し、見極めていく方がよいと思うので、早速こちらに投資をするというよりは、もっと学校のリアルに人を加配するようお金を使っていた方が、今はいいと私個人は思います。やはり、事務補助員がいることによって、先生方も負担が楽になるのことは間違いのないと思います。</p>
川畑町長	<p>すべての教科を塾でしようとしても、なかなか難しいと思います。主要5教科なのか3教科なのかの話や先ほどの塾の話ですが、例えば民間に依頼して来てもらうのか、やり方はいろいろあると思います。</p>
平松職務代理者	<p>塾の先生は、教え方が学校の先生とまるっきり同じではありませんので、両方、ふた通りになっていいのか、悪いのか、子どもが混乱することがあるかもしれません。ですが、違う方からみたら、より理解が深まることもあるかも、塾はそういう力を持っているものと思いますので、塾があるに越したことはないと思います。</p>
川畑町長	<p>なかなか塾の難しい所は、ターゲットをどこにするのか、上位の子たちなのか、中位の子たちなのか、全体に同じ内容を教えるのか、どこにするのかで教える内容も違ってきますし、難しいところはあるんでしょうね。他の町村に細かくは聞いておりませんが、聞いてみますが、底上げなのか、上のさらにレベルを上げるのか。</p>
平松職務代理者	<p>ターゲットを上位の子、下位の子と考えると、下位の方がいい。今現在は学校の加配の方がいいのかなと思います。</p>
川畑町長	<p>わかりました。違う意見をお持ちの方はいますか。大石委員どうですか。</p>
大石委員	<p>なかなか難しい問題だと思います。平松職務代理が言ったように、タブレットを使って次々にいいことがたくさんありそうですが、塾と同じようにどこまで出来るのか、これからタブレットを先決するのであれば、様子を見ながらになると思います。</p> <p>公設塾になると、みんなが行くわけではないし、例えば塾に行ってる子は少数であれば、先生は学校とは違い予習に力を入れている。それについていけない子は、時間を区切って、あれとこれをやっておいでと学校の先生よりも先に先にやっておく、進めるのが、中学校、高校、このあたりの塾はそうだと思います。</p> <p>小学校であれば、わからない子を出さないために、先生方は底上げを考えていると思います。どんどん出来る子は、塾が良いのか。悪くはないんでしょうけれど、難しいと思います。塾を開設して出来る子をどんどん進めていくのか、そうすると、学校の先生はどうしているのという話にもなると思います。</p>

大石委員	<p>塾があったらいいとは思いますが、全体の学力を向上させるためには、下位の子の底上げが一番早いのです。上の子の90点が上がっても10点しか上がらないが、下の子の30点はとても上がります。学校全体の点も下の子をあげた方が、いいのではと思います。</p> <p>私の思っている塾は、先ほどお話したような塾なので、今、塾が必要か底上げをしてくれる塾なのかどうか。そういう子たちが実際、塾に行ってみて塾の宿題や課題を理解出来るのか、難しいところです。塾を開設したら、浦臼町の子どもの成績が上がるか難しいです。</p>
川畑町長	<p>確かに難しいです。30点の子に教える内容と90点の子に教える内容が同じではなく、レベルが違ってくると思います。一同で一カ所のできるのか。</p>
大石委員	<p>どちらの先生が来るかにもよりますね。底上げの先生が来るのか。もっともっと勉強するような子を教えるのか、どちらに重きをおいて塾を開くのかというのがあります。難しいですよ。</p>
川畑町長	<p>細かく対応出来るのかと聞かれたら、現実的に教科の問題、習熟度の問題等、数限りなくなってしまうので、時間をかけて検討します。どちらかという加配重視ということで、いいですね、平松さん。</p>
平松職務代理者	<p>私は加配を1.5人から2人に、事務補助員も1人でお願いします。</p>
川畑町長	<p>それでは、最後となります、(4)成人式のあり方についてです。成人年齢が20歳から18歳に変わり、これはどこまでのご意見が出るでしょうか。</p>
上嶋局長	<p>こちらは忌憚な意見が交換できるとして期待しています。</p>
川畑町長	<p>問題点といたしますか、18歳で成人式を行うと受験にかぶってしまう。大学共通テストが1月ですので、受験する子、共通テストを受ける子は成人式に出れないと思います。全国的にも同じことが話題となっており、18歳で成人式を行う自治体が100カ所くらいということです。初年度は二十歳の子と、19歳、18歳と3年分一緒に行うと思いますけれど、1度に行うのかまではわかりませんが、全国で100カ所が(18歳で)行うということです。</p> <p>それが一つの案になりますが、もう一つはいままで通り、二十歳で行うことにして、成人式の名前ではなくなるかと思いますが、二十歳の記念の催しということになります。</p> <p>大きく分けたら二つになるかと思いますが、どちらを選択するかという話になるかと思えます。私としては、二十歳の催しと思うんですが、忌憚のないご意見ということで、島委員、いかがでしょうか。</p>
島委員	<p>18歳の時に成人式を行う自治体が100あるということですが、逆に二十歳で行うところも結構ありますか。</p>
川畑町長	<p>二十歳で行うと言い切ったところは、多いと思います。</p>
河本教育長	<p>そちらの方が多いいのではないのでしょうか。</p>
上嶋局長	<p>二十歳の方は、あまり調べていませんが、自治体1,700のうち、ほぼ1,600は二十歳で行うと思います。</p>
島委員	<p>成人の集いが二十歳の集いという題名を変えての方が個人的にはいいと思います。</p>
川畑町長	<p>はい。成人の日という祝日は残るのですか。</p>
上嶋局長	<p>残ります。</p>

美濃委員	<p>島委員と同じ意見なのですが、高校でいきなり（成人式というよりは）、女親の立場として、二十歳で着物も着せたいという、イベント的なことも日本の文化としてあり、一生で最初で最後に着物を着る子もいます。日本人としての誇りを持つチャンスもあると思います。18歳で新しいところへ旅立つお子さん、大学、就職と気ぜわしいかなと思います。浦臼町から出て2年経っているお子さんも多いと思いますので、半分同窓会の感じとして、町と親は見守りつつ、頑張りなさいという励ます、個人的にはそれがよいのかなと思います。</p>
平松職務代理者	<p>私もその方がいいと思います。</p>
川畑町長	<p>大石委員、どうですか。すみません。教育長が答弁でした。</p>
大石委員	<p>なかなか、18歳で何もわからないまま成人の集いを行うよりは、2年間、大学や就職で経験を積んで親への思いや地域の思いを持って、二十歳の集いを行ったほうが、子ども達がいろいろなありがたみがわかると思います。</p>
川畑町長	<p>みなさんのご意見、わかりました。その(二十歳の催し)方向がよいのかな。それでは、議題の1は終わりといいたします。</p> <p>次は議題2、こちらは大きな問題となりますが、報告が主なものとなります。事務局の方から資料に基づきまして、すすめさせていただきます。</p>
吉村学務係長	<p>はい、それでは私のほうから5月1日からの学校の状況について報告させていただきます。</p> <p>でははじめに、分散登校についてです。資料に記載のとおり実施しておりまして、今後の予定としては、小学校は29日まで、奇数学年と偶数学年で輪番登校し、26日から給食ありの分散登校を実施します。</p> <p>中学校は26日まで全学年、午前中3時間の分散登校を実施し、27日から給食ありの5時間授業を実施します。</p> <p>次に臨時休業中の家庭学習、学習、生活指導についてです。専決処分で購入を付けていただき、小学校は学年によって教科は違いますが、全学年ドリルを購入、中学校でも理科と英語のワークを全学年購入し、取り組んでおります。小学校の取組としては、1日1枚の宿題プリントやノートによる家庭学習、また学年段階に応じた、生活リズム調査票を配り、取り組んだ学習内容や読書、運動の有無など毎日記載するようになっております。</p> <p>そのほかに指導上、気になる児童の保護者と面談を実施したり、電話やメールでの相談、教育局から提供される学習情報をメールで提供しております。</p> <p>中学校の取組としては、ワークやプリントなどを登校日に配布し、次の登校日に提出させています。家庭学習のワークやプリント類を範囲とした、テストを定期的に行い、生徒のモチベーションの維持に繋がっています。生活指導などについては、相談プリントを配布して、生徒の悩み相談に対応したり、それらの情報を教員間で共有し、活用しています。</p> <p>次に教職員の勤務状況についてです。小学校は在宅勤務と出勤を座席のブロックごとに分けて空間を保つような調整をしております。中学校は各学年1名、もしくは日によって2名になることもありますが、出勤を基本として在宅勤務を実施しております。</p> <p>次に資料2ページ目になります。今後の行事予定ですが、資料に記載しているとおりとなりまして、小・中学校ともに水泳授業の中止が決定しております。また、小学校については、学芸会、コミュニティスクール関係のそば打ち、伝統芸能体験は中止としております。7月23日から予定としていました夏休みも8月4日からと短くなっております。</p> <p>中学校はまだ、決定ではありませんが、学校祭は中止、夏休みについても期間を短くする方法で、現在検討しており、今後職員会議で決定する予定となっております。</p>

吉村学務係長	次に児童生徒の様子についてですが、小・中学校ともに体調の悪い児童生徒はいないと聞いておりますが、生活のリズムができていない子が、数名いるとのことでした。また、体力の落ちている児童生徒が多いとの報告を受けています。以上です。
川畑町長	<p>現状と今後の予定の説明があったところです。徐々に分散登校については内容を充実しているところです。6月以降については、判断がどう下されるのかによって、動きが違ってくると思いますが、とりあえず小康状態で、ゼロになるのかわかりませんが、今日共にしばらく、一桁が続いていくと思います。</p> <p>石狩管内以外については、解除という可能性がないわけでは無いのかなという気がしますが、まだわかりません。</p> <p>いずれにしても子ども達は殆ど、授業を受けることができていませんので、学業面、特に新一年生は学校に慣れる間もなく休校になりましたので、それをいかに取り戻すか、解除後の大きな仕事になってくるのかと考えております。</p> <p>今後の行事予定もみなさんご覧のとおり、秋口くらいまでの行事は中止の方向、決定という形となりまして、やむを得ないところなのか、数ヶ月後の日本の現状、北海道の現状が把握しきれないので、安全側で判断するしかないのかという思いです。</p> <p>もう一つは、授業時間が不足しておりますので、行事の時間を学業、授業に当てるとというのが、基本的な考え方でありまして、こうせざるを得ないのかというところもあります。子ども達の思い出、特に卒業していく子ども達には、最後の運動会、学芸会だったので、可哀想ですけど、やむを得ない状況にあるのかと思います。</p> <p>最後の児童生徒の様子ですけど、体調が悪い子はいないようですが、生活のリズムの乱れや体力、家から出ないことが基本ですから、当然、運動不足になるでしょうし、生活のリズムが夜型になるような、子どもが出てくる心配があります。</p> <p>こればかりは解除になって通常生活に戻らないとなかなか解決しない、親の監視、管理がどこまで行き届くのかという面もありますが、やはり通常生活に戻らないと本来の状態にはならないと思います。生活リズムが乱れている子どものケアもしていかなければならないと思います。</p> <p>資料をご覧になって、どうですか。説明を聞いて意見、思うところがあったら聞かせてください。</p>
平松職務代理者	学校に行きたくないという子はいないんですよ。
吉村係長	いないと思います。いるとは聞いておりません。
畑山社会教育係長	最近、たまに分散登校する子ども達を見ていて、大丈夫なのかなと心配になっていてまして、今、聞ける機会があって良かったです。
河本教育長	もし、行きたくないまたは、親が行かせたくないという場合は、休みではなく出席停止という形を取ります。
平松職務代理者	(出席停止の) 対象の子はいないんですよ。
上嶋事務局長	おりませんけれど、子ども広場の状況は、通常は30人近くこの時期には来ていますが、現状は10人未満というところです。やはりそれは、子どもではなく、親が気にしている結果ではないかと見立てています。来ている子ども達は元気いっぱいに活動しています。
川畑町長	分散登校にも行かせない親がいますか。

上嶋事務局長	それはいいです。分散登校が始まったら、もう少し広場の方に流れてくるのかと 思っていたのですが、いまは家に帰る子が多いです。
川畑町長	大石委員、何かありませんか。
大石委員	特にありません。
川畑町長	とりあえず6月1日かその前に判断が出ると思います。いずれにしても、新聞 などで情報が流れますので、少し前には判断できると思います。
河本教育長	おそらく、6月1日から通常登校になると思われます。教育局で各教育委員会を訪 問して、25日月曜日、浦臼町に義務教育指導監と教育支援課長が来まし て、教育局と小中学校の校長とで学校再開にむけた意見交換、指導があります。そし て、26日に全道の北海道教育委員教育長と全道教育委員会の定例会議がありまし て、それを前提としての6月1日からの通常登校ですので、そちらに向けて質問があ れば、明日の朝まで連絡してほしいとの連絡がこちらに入りました。
河本教育長	ただ、学校再開になったとして、私たちもそうですが新しい生活様式、例えば話す ときは横に並んで話す、給食を食べるときは机に必ずハンカチを置くように、そうい うようなことは継続して行う必要がありますし、体育の授業でもいろいろ工夫しない ければならない。それが標準になっていくのかもしれないです。
川畑町長	いまの状態、石狩地方だけが緩和されていなくて、それ以外の地域は半分緩和され たような状態、どの状態でもそうなりますか。
河本教育長	わかりません。26日に説明があるのだと思います。
川畑町長	基本的には再開しようという方向にありますね。わかりました。他にみなさんあり ませんか。次にすすんで、よろしいですか。 次のレジュメにいけます。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に伴う状況につきまして、社会教育係から説明をさせていただきます。お手元、レジュメの3ページ目を開いてください。

①公共施設の開設状況ですが、下の表に5月1日以降、資料記載の農村センターからふるさと運動公園野球場までは、5月末日まで臨時休館と致しております。パークゴルフ場につきましては、町内者のみとさせていただきます、用具の貸出しをしない形で利用可としております。

次に郷土史料館につきましても、農村センター同様、5月末日まで臨時休館と致しております。農村センター図書室につきましては、今月13日より完全予約制で一部貸出しができるようにしております。

最後に浦臼町こども広場につきましては、上記施設とは切り離しまして、4月1日から、除菌や換気などの対策を講じながら、開設している状況です。

先ほど説明もありましたが、5月からの参加状況は5人から10人程度の参加者で、参加する子が固定化されている現状です。(?)につきましては多くて13人という実績でしたが、通常の開設よりは少ない参加となっております。

②管理人の取り扱いについては、上記2施設に係る海洋センターと郷土史料館の会計年度職員についての事ですが、臨時休館に伴い、代替業務を設定し従事していただいております。また、施設に係る維持管理、施設、物品資料の保存、保管という本来の業務についても適切に役割を当て、従事している状況です。

③社会教育事業の取組ですが、5月以降の開催の有無につきまして、延期できるものは先送り、開催不可能なものは中止と判断している現状です。また、学校の長期休業の短縮が見込まれており、そのことで当初計画していた事業が左右される場合もございます。その時期に適した事業でもあるため、中止せざるを得ないのかとみています。

次に③の中で下記の事業については、今後の大きな事業として記載しております。

一、みどり学園についてですが、年間14回の学習会を計画しておりましたが、これまで開催を見合わせており、6月からの回数は当初より減少し、内容も縮小や見直しでの実施となると予定です。これからどうしていくか、学園生の意見を取り入れる方向でも考えておりますが、学園長の考えも参考にしたいというところです。

二、町民文化祭、成人の集い、いわゆる催事、式典事業のことですが、開催の有無については見合わせ(検討)しているところでありますが、この事業については準備期間を考えますと、早い段階で(有無を)決めなくてはいけないと思います。

④、プールの開設です。プール施設内での安全面は、感染のリスクが少ないと一部確認しておりますが、3密を回避する部分で、更衣室などでは非常に困難を示しており、またプール内では接触感染、飛沫感染の徹底した感染予防の管理、指導を監視員や利用者に定着させることが重要であると考えます。

3密を回避しながら、本町のプール状況を踏まえて、遊泳時間、利用者の制限、消毒作業人員等、知恵を絞り、実務の様子を描いてみましたが、オープンすることは係内では厳しいという見解にいたりました。

それから開設の動向を、直近3カ年の利用実績も検証し、更に今年の利用状況見込みも参考材料にしまして、この後、上層部の意見も仰ぐ考えです。

下記がここ3年間の利用実績です。( )内の数字が学校の授業利用と社会教育事業での実数を記載しておりますが、ご覧のとおり今年、小中学校はプールを利用しないということが、決まっております。そうなりますと、今年の実数も大幅に減少すると思われます。あくまでも参考です。以上が社会教育係の新型コロナウイルス感染症に伴う話です。

川畑町長	<p>最初は公共施設の開設状況の現状についてでした。道外で緊急事態宣言が解除された町の状況をみますと、外の施設、野球場、陸上競技場、公園も含めて開放している所が多いようです。ただ、中の施設は様子を見ている所も見られますので、町外者の利用はしばらくは難しいと考えています。ただ、このまますすめば、徐々に外の施設から優先的に開放していくと思います。</p>
	<p>管理人につきましては、施設が稼働しておりませんので、その業務自体が出来ない状況ですが、他の業務に振り分けまして勤務時間に当てております。今後も継続して検討していきたいと思います。</p>
	<p>3点目、みどり学園などその他の行事についてですが、先ほど、成人の集いについての考え方をお話いただきましたけれども、どこまでがみなさんの意識や行事、集まりに対しての抵抗感があるのか、薄まるのか予想がつきません。 病気の発生自体は、極小化している、もしかしたら発生しなくなるのかもしれませんが、一端3密という環境を体験したら、元の意識に戻るのはどのくらいかかるのか、何年なのかという話がマスコミでは流れています。</p>
	<p>細心の注意を払って、可能なものは開催したいと、そして意識の問題もありますので、時間を掛けて検討していきたいと思います。 お年寄りの方から、老人クラブの例会も行いたいという声が、ちらちら出てきているようです。お年寄りや子ども達もストレスが溜まっている、そちらも心配しています。なるべく開館や再開をしたいのですが、3密の新しい生活様式を自覚して実践しなければなりませんので、いきなり開放ではなく、段階的ある程度時間をかけさせてもらいたいと思います。</p>
	<p>4点目、プールについてです。授業は、小中学校ともにすでに中止となって、授業を除きますと例年のほぼ半分以下の利用になってしまうと状況です。当然、プールは塩素が入っておりますので、プール自体は安全なのですが、上がった場所、更衣室、シャワーにつきましては、感染対策をとることになります。100%の安全はないですが、どこまで対策をすれば安全かの見極めも必要です。安全にいけば閉鎖という選択肢になってくる、ただ子ども達の夏の楽しみの大きな部分でもありますので、難しい判断となりそうです。みなさんはどうお考えですか。</p>
美濃委員	<p>難しいですね。絶対はないので、もしプールを開放しても発生したらと思うと心配です。ただ、夏暑くて、家の中にいる子ども達のことを考えると気の毒です。</p>
島委員	<p>学習面も大事ですが、体を動かす事は子どもにとっては大事な事なので、今現在、体力が落ちている事を考えると、できれば開けて欲しいとは思いますが、実際なんとも言えません。</p>
川畑町長	<p>誰も100%安全とは言えないですよ。</p>
平松職務代理者	<p>浦臼の子ども達は、プールへ自分で歩いて行く子、もしくは親に送ってもらう子たちですか。</p>
上嶋事務局長	<p>プール利用の子どもは、バス利用の子たちは、広場に来てから、プールに行くことが可能になっています。</p>
平松職務代理者	<p>直接であれば、プールから上がってシャワーを浴びず着替えて、そのまま歩いて帰り、更衣室を利用しないことも出来るのかなと思ったのですが、広場経由だとそうもいきませんね。</p>
河本教育長	<p>小学校・中学校もそうですが、夏休み期間は短くなると思います。そうすると自ずとプールの利用も少なくなるのでは。</p>
平松職務代理者	<p>どうしても、開設期間は夏休みの短い期間になるのかもしれませんが。</p>

河本教育長	<p>B &amp; Gの管理人が更衣室に入るのは見届けていますし、プールの監視員は更衣室から出るところは見えています。けれども、更衣室がどういう状態になるのか、見届ける人が現状ではないということです。このような状況で、委託のリミットが今月末くらいで、閉鎖なら委託はしないです。今月末で返事をすれば、間に合いますが、人員の確保をしてもらっているので、期限を過ぎれば難しいということです。経費的には開設することによって、280万円くらいの経費がかかります。</p> <p>いま、コロナの影響で経費がいろいろかかっていることを考えると、1年我慢するのもやむを得ないのかとも思います。</p>
川畑町長	<p>ここまで、浦臼町では、コロナの発生がなかったわけですが、是が非でも出したいという気持ちです。あまり締め付けて子ども達にストレスが溜まっては困りますが、安全は最優先ですので、検討させてください。また、他の市町村もプールはありますので、他の町のことも確認しながら、最終的に決めていきたいと思います。</p>
上嶋事務局長	<p>変わりました、資料にはありませんが夏休みが短くなることに伴い、基本的に夏休み中は給食の提供ができないという問題がありまして、そうすると午前中授業になるのかなと思います。</p> <p>今年は奈井江給食センターが7月の末までで終わる、8月は砂川給食施設の改修をするので、ある程度の休業期間も必要という状況から、夏休みの給食の提供は、現状難しいということです。</p>
川畑町長	<p>ということは、今年の給食提供は難しいということですか。代替え案は考えられますか。</p>
上嶋事務局長	<p>3時間授業で済ますとは考えられます。または、お弁当を持たせるとか。他になにができるのか。</p>
川畑町長	<p>学校給食の話は、本日はしませんでしたけれども、砂川へ委託の形となりました。運搬については、浦臼町がメインになりまして、浦臼町で車庫と車両を用意しまして、美自校さんをお願いする可能性が高いということになります。そして、浦臼町と奈井江町、両方に配ることは、みなさんご存じだと思います。そのようにすすめさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは議題1. 2. 3まで終わりました。</p>
石原副町長	<p>その他に入ります。5月14日より副町長に就任しました、石原副町長をご紹介します。</p> <p>みなさん、お疲れ様です。臨時会にて同意をいただき、14日から副町長に就任をさせていただいております。24年間役場の職員として従事してきましたが、教育行政には、携わったことがない人間でございます。このような総合教育会議に出席させていただき、みなさんの意見、広い知見で教育、浦臼町にとってどういったものがよいのか、意見を聞かせていただき、町に持ち帰り、一つ一つ解決できる働きができるように考えていきます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
川畑町長	<p>まったく(教育行政の)経験はありませんが、私も子どもは3人おりますし、保護者としていろいろお世話になっております。また、地域の方にも育てていただいたという思いもありますので、少し立場は変わってきますが、町の宝となる子ども、将来の日本を背負っていく子どもを、どのように育てていくか、是非これから必要な部分と考えています。これから出来ることを町長の補助役で頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは1時間半になりましたけれど、活発なご意見ありがとうございました。有意義なご意見をいただきましたこと、今後の教育行政に活かしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。</p>